

平成29年度事業報告書

〔平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで〕

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの当財団の平成29年度事業概況について、以下のとおりご報告申し上げます。

事業概況

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

平成29年度は、以下のとおり各事業を実施いたしました。

I 事業

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、地下鉄博物館の管理・運営を行いました。

本年度は、地下鉄博物館に展示している日本初の地下鉄車両1001号車が9月に「国の重要文化財」に指定（文部科学省告示第117号）、8月にも一般社団法人日本機械学会から「機械遺産第86号」に認定されました。その他12月には地下鉄開通90周年に係る特別展、記念講演を実施したほか、各種イベント等を行いました。

その結果、本年度の入館者数については、特別展（記念講演を含む。）やイベントの開催情報の提供のほか、マスコミによるテレビ放映等の影響により、181千人（対前年比5.8%増）となりました。

(1) 特別展の開催

ア「地下鉄の安全をまもる人と設備の紹介展」

(平成29年6月13日から7月30日まで開催)

この特別展では、地下鉄の定時運行を目指して施設・設備の維持管理を行う人々と、

各種設備、災害に備える対策について、写真やパネルなどで紹介しました。また、点検・保守に使用される工具類などの実物展示のほか、保守部門の一部業務を体験することにより、安全をまもるために行われている様々な対策、日々の努力をより身近に感じていただけることを願い、紹介しました。

なお、今回の特別展開催に当たっては、東京都交通局様並びに東京地下鉄株式会社様のご協力をいただきました。

イ「地下鉄開通90周年展～東京の地下に夢を求めて 地下鉄の誕生と発展の足跡～」

(平成29年12月2日から平成30年1月28日まで開催)

この特別展では、日本初の地下鉄が開通して90周年を迎えることから、東京の地下に夢を求め、地下鉄事業を成し遂げた早川徳次にスポットをあて、開通までの苦難と建設に至る経緯などについて、写真、パネル等で紹介しました。特に早川徳次ゆかりの資料として欧州への視察に係るパスポートなど貴重な品々や当館所蔵の地下鉄開業ポスターの原画などを展示しました。また、常設展示している日本初の地下鉄車両1001号車についても紹介し、地下鉄が東京のみならず北は札幌から南は福岡まで、日本の主要都市で開業している地下鉄網の発展について地下鉄開通90年間の足跡として紹介しました。

なお、今回の特別展の開催に当たっては、山梨県立博物館様、早川徳次の関係者様にご協力をいただきました。

ウ「鉄道模型大集合展～地下鉄車両を中心として」

(平成30年3月6日から4月15日まで開催)

この特別展では、地下鉄博物館が収蔵する鉄道模型をはじめ、関係者から借用した模型について、各車両の形式や車両構造、歴史などをパネルで解説し、鉄道ファンだけでなく大勢の方に楽しんでいただけるよう、100両を超える模型電車を展示紹介しました。

なお、今回の特別展の開催に当たっては、東武博物館様、電車とバスの博物館様並びに東京地下鉄株式会社親交会鉄道模型部様のご協力をいただきました。

エ「お客様からの贈りもの展～鉄道乗車券のいろいろ」

(平成29年9月5日から10月15日まで開催)

鉄道好きなお客様からいただいた乗車券には、サイズの異なるもの、駅名が変更となったもの、硬券の表記に個性のあるもの、廃線となったものなど多種多様なものがあります。そこで、種類別に鉄道乗車券のいろいろを実物展示しました。

なお、この特別展は、通常の特別展より小規模な展示として実施しました。

(2) イベントの実施

入館されたお客様に楽しんでいただけるよう、春休み、ゴールデンウィーク及び夏休みなどの各期間を捉えて各種イベントを行いました。特に「建設記録映画の一挙上映」「レールで学ぶ館内ツアー」を実施したほか、「ぎんちゃん・まるちゃんふれあい会」「1001号車車内特別公開」についても適時行いました。

(3) 教育実習活動の実施

学芸員資格取得のための博物館実習を実施したほか、近郊の中学校からの要請による職場体験学習（チャレンジ・ザ・ドリーム）の受入れ等教育実習活動を行いました。

また、東京都市大学附属中学校の依頼による企業研究講座の実施や昭和鉄道高等学校からの依頼による職場体験学習の受入れを行いました。

(4) 地下鉄関連資料の収集、保存及び公開

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存するとともに、データベース化した貴重な資料を活用・公開している「メトロアーカイブアルバム」について内容の更新を行いました。

(5) 展示物の更新及び施設の改良等

本年度実施した主な展示物の改良等は、以下のとおりです。

- ア 指令体験卓等の改良（地下鉄をまもるコーナーの指令卓ほか災害対策解説の更新）
- イ 旅客サービスコーナーの改良（サービス内容の充実と展示方法の変更）
- ウ 空調設備の改良
- エ その他（展示物の多言語化、天井照明設備更新、収蔵品管理ソフトの導入等）

本年度も地下鉄博物館の管理・運営に当たっては、なお一層多くのお客様にご来館いただけるよう、博物館のホームページ、駅構内掲出のポスター、携帯サイト等の各種媒体を通じて特別展やイベント開催等を紹介しました。特に、9月に日本初の地下鉄車両1001号車が国の重要文化財指定を受け、車内特別公開を実施するとともに、12月には地下鉄開通90周年展、3月には鉄道模型大集合展を開催するため事前PR活動に努めました。また、テレビ局、新聞社・雑誌社等メディアの取材に積極的に対応し、博物館のPR、お客様の誘致活動を推進しました。

2 交通文化事業

音楽会、絵画展、写真教室、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、次の事業を実施しました。

(1) メトロコンサートの開催

音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、地下鉄博物館ホール及び駅構内において、「メトロコンサート」を次のとおり8回開催しました。

	開催日	コンサートタイトル及び出演者	来場者数
地下鉄博物館	H29.5.6	第70回 “キッズコンサート” 出演者：ホンカーズ	226人
	H29.9.9	第71回 “秋のファミリーコンサート” 出演者：ララ・カンツォーネ	367人
	H29.12.9	第72回 “クリスマスコンサート” 出演者：CoCoRo*Co	285人
	H30.2.10	第73回 “クインテットで魅せるミュージカル・ナンバー!” 出演者：カメラリア・サクソフォン・カルテット	323人
駅構内	H29.5.29	第10回 ステーションコンサート in 渋谷 「弦楽四重奏」「金管五重奏」 出演者：東京藝術大学音楽学部学生ほか	363人
	H29.8.29	第11回 ステーションコンサート in 渋谷 「ピアノソロ」「ピアノ&サクソフォン」 出演者：東京藝術大学音楽学部学生ほか	398人
	H29.10.21	第12回 ステーションコンサート in 渋谷 「弦楽四重奏」 出演者：東京藝術大学音楽学部学生ほか	444人
	H29.10.22	第13回 ステーションコンサート in 渋谷 「サクソフォン四重奏」 出演者：東京藝術大学音楽学部学生ほか	413人

(注) 駅構内でのコンサートのうち 10.21 及び 10.22 は、渋谷音楽祭の一環として開催。

(2) メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽にクラシック音楽に触れていただくため、当財団のホームページやメトロニュ

ース等で参加者の募集を行い、21,013人の応募者の中から厳選のうえ、2,000人を招待し、東京芸術劇場において、次のとおりコンサートを開催しました。

・第12回「メトロポリス・クラシックス」コンサート（平成29年11月12日開催）
テーマ“オーケストラが紡ぐ 夢と情熱の響き”

出演：東京都交響楽団ほか

来場者1,651人

(3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動に寄与するため、都内及びその近辺の福祉施設、病院等において「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を次のとおり8回開催しました。

回数	開催日	施設名及び出演者	来場者数
81	H29.4.26 新規施設	社会福祉法人 清峰会 特別養護老人ホーム 浅草ほうらい (台東区) 出演者：ララ・カンツオーネ	105人
82	H29.5.17	順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター (江東区) 出演者：東京都交響楽団メンバーほか	136人
83	H29.6.6	社会福祉法人 奉優会 港区立特別養護老人ホーム 白金の森 (港区) 出演者：ララ・カンツオーネ	80人
84	H29.7.11	社会福祉法人 フロンティア 特別養護老人ホーム 山吹の里 (豊島区) 出演者：アンサンブル・ディベルターズ	63人
85	H29.9.15 新規施設	社会福祉法人 聖風会 特別養護老人ホーム 花畑あすか苑 (板橋区) 出演者：ララ・カンツオーネ	158人
86	H29.10.2	東京都立文京盲学校 (文京区) 出演者：東京交響楽団メンバーほか	45人
87	H29.10.31 新規施設	日本大学病院 (千代田区) 出演者：東京交響楽団メンバーほか	75人
88	H29.11.30 新規施設	社会福祉法人 育秀会 特別養護老人ホーム 第3育秀苑 (練馬区) 出演者：ララ・カンツオーネ	67人

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び展示する「メトロ文化展」を次のとおり開催しました。

ア 児童絵画の部

地下鉄に関する知識や興味を持っていただけるように、小学生を対象に安全やマナ

一等に関する絵画作品を募集した結果、9,548点の応募がありました。3人の審査員により、応募作品の中から優秀作品300点及び奨励賞作品300点を選び「メトロ文化展 児童絵画の部」として次のとおり展示しました。

- ・第一次展示（「鉄道の日（10月14日）」を挟む平成29年10月7日から10月19日まで）

優秀作品300点を三越前駅コンコースに展示

- ・第二次展示（平成29年10月21日から10月27日まで）

優秀作品（特選）30点及び奨励賞作品300点を三越前駅コンコースに展示

- ・第三次展示（平成29年10月31日から11月12日まで）

優秀作品及び奨励賞作品の600点を地下鉄博物館に展示

審査員：大石法枝氏（新象作家協会委員）

小野孝一氏（現代童画会常任委員）

川内 悟氏（公益社団法人二科会常務理事）

イ 写真の部

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を次のとおり2回開催しました。

特に、本年度は、平成6年12月に初めて開催して第40回目の節目の回であることから、2回のうち1回は都心から少し足を伸ばし、「新緑の秩父を撮る」と称し、埼玉の自然豊かな風景と歴史を感じる秩父周辺において開催しました。

また、撮影作品の中から優秀作品を選考し、「メトロ文化展 写真の部」として次のとおり展示しました。

- ・第40回 写真教室及び撮影会（平成29年5月20日開催）

場 所：秩父周辺

応募者 101人 参加者 33人（定員30人）

講 師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）

作品展示：84点を展示

日本橋駅コンコース（平成29年7月19日から7月28日まで）

地下鉄博物館（平成29年8月22日から9月3日まで）

また、地下鉄博物館では、同期間「写真で見るメトロ写真教室の歩み」と題して、講師中谷吉隆氏の第21回から第25回までの作品もあわせて展示しました。

・第41回 写真教室及び撮影会（平成29年10月14日開催）

場 所：柴又帝釈天周辺

応募者 83人 参加者 36人（定員50人）

講 師：同 上

作品展示：90点を展示

三越前駅コンコース（平成30年1月13日から1月22日まで）

地下鉄博物館（平成30年1月30日から2月12日まで）

また、地下鉄博物館では、同期間「写真で見るメトロ写真教室の歩み」と題して、講師中谷吉隆氏の第26回から第30回までの作品もあわせて展示しました。

ウ 文学の部

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、「東京で感じるあなたの心」をテーマにした「詩」の募集を春と秋の2回、当財団のホームページやメトロニュース等で行いました。応募された作品の中から優秀作品6編を選び、電車内中吊りポスターで掲出するとともに、入選作品20編を選び、「写真の部」と同時に、「メトロ文化展 文学の部」として次のとおり展示しました。

・第25回募集（平成29年4月1日から5月31日まで）

応募数：566編（380人）

選 者：白石公子氏（詩人、エッセイスト）

作品掲出：優秀作品6編

電車内（平成29年7月1日から12月31日まで）

作品展示：優秀作品6編及び入選作品20編

日本橋駅コンコース（平成29年7月19日から7月28日まで）

地下鉄博物館（平成29年8月22日から9月3日まで）

・第26回募集（平成29年10月1日から11月30日まで）

応募数：487編（342人）

選 者：同 上

作品掲出：優秀作品6編

電車内（平成30年1月1日から6月30日まで）

作品展示：優秀作品6編及び入選作品20編

三越前駅コンコース（平成30年1月13日から1月22日まで）

地下鉄博物館（平成30年1月30日から2月12日まで）

(5) 沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等を財団のホームページや「Echika 池袋ギャラリー」において紹介しました。

本年度は、江戸川区と葛飾区における上記内容の紹介を次のとおり行いました。

ア 江戸川区

「いきいき TOKYO 夢 EDOGAWA」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介

- ・財団ホームページへの掲載（平成29年6月1日から）
- ・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（平成29年6月1日から6月29日まで）

イ 葛飾区

「いきいき TOKYO 夢 KATSUSHIKA」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介

- ・財団ホームページへの掲載（平成30年2月1日から）
- ・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（平成30年2月1日から2月27日まで）

(6) メトロ歴史教室・歴史散歩の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室・歴史散歩を次のとおり2回開催しました。

ア 第32回 歴史教室・歴史散歩（平成29年11月11日開催）

場 所：「旧国境を歩く」（両国・蔵前界隈）

応募者 89人 参加者 45人（定員50人）

講 師：山田 徹氏（大学講師：地理学・地誌学専門）

イ 第33回 歴史教室・歴史散歩（平成29年11月18日開催）

場 所：同 上 応募者 84人 参加者 34人（定員50人）

講 師：同 上

(7) Echika 池袋ギャラリーの管理運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するため設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行いました。展示については地元豊島区と分担して行い、当財団については、次のとおり展示しました。

展 示 期 間	展 示 内 容
H29.6.1～6.29	江戸川区における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等
H29.8.1～8.30	<p>テーマ：「朝顔 千紫万紅」</p> <p>○展示趣旨 人々の生活に身近な存在であり、夏の風物詩として親しまれている朝顔の、江戸時代から明治時代の様子を様々な角度から紹介する。</p> <p>○展示作品 歌川広重、三谷勝波、揚州周延による絵画 戸田熊次郎による序文 四時庵形影、万花園主人、朝顔師成田屋留次郎による著書</p>
H29.12.27 ～H30.1.30	<p>テーマ：「仮名手本忠臣蔵」の舞台へ</p> <p>○展示趣旨 11 の場面から構成される「仮名手本忠臣蔵」のストーリーを歌川広重によって描かれた作品（錦絵）により紹介する。</p> <p>○展示作品 歌川広重による計 16 枚の絵画</p>
H30.2.1～2.27	葛飾区における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等

(8) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置した「パブリックアート」の維持管理を行いました。

パブリックアートは、現在、副都心線西早稲田駅に2作品、北参道駅に1作品及び有楽町線豊洲駅に1作品の合計3駅4作品を設置し、本年度は平成29年12月に銀座線上野駅及び末広町駅に1作品ずつ設置し、合計5駅6作品となりました。

また、平成27年12月に銀座駅コンコースに設置した「Glass Box Metro Ginza」（メトロ銀座ギャラリー）の展示管理を行いました。

展 示 期 間	展 示 者	展 示 内 容
H29.4.18～7.26	平成 29 年東京藝術 大学美術学部・大学 院美術研究科卒業生	平成 28 年度「東京藝術大学 卒業・修了作品展」 の中から選ばれた 10 点の優秀作品（4 回に分けて展 示）
H29.7.28～9.27	メトロ文化財団	これまでに Echika 池袋ギャラリーで展示した江戸 博物館所蔵の作品

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、あわせて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、次の事業を実施しました。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月東京メトロの全駅及び電車内に掲出しました。

本年度は、鉄道との親和性が高く、幅広い世代から愛され、外国人のお客様の興味も喚起できる「スタンプ」をメインビジュアルとし、良いマナーには“よくできました”、また良くないマナーには“もう少し頑張りましょう”と言った啓発を促すデザインを使用し、お客様のマナーへの関心を高めるポスターとしました。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を15万部制作し、地下鉄博物館及び東京メトロ主要駅において配布しました。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄に関する知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、駅施設見学、地下鉄博物館でのセミナー等を行う「鉄道教室」を次のとおり開催しました。

・第17回 鉄道教室（平成29年8月19日開催）

場 所：東西線妙典駅、妙典乗務管区車掌事務室・運転事務室、地下鉄博物館
応募者 268人 参加者 70人（定員100人）

内 容：施設見学（駅員、車掌及び運転士の仕事、職場の仕事等）
セミナー（「鉄道を利用するマナー」と「日本最初の地下鉄誕生」）
駅員・乗務員との意見交換会

(4) 啓蒙用グッズ類の配布

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベント参加者等に配布しました。

Ⅱ 庶務

1 理事会

(1) 平成29年度第1回(平成29年6月1日開催)

ア 「平成28年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「定時評議員会の招集に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

(2) 平成29年度第2回(平成29年6月22日開催)

ア 「業務執行理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「理事長、専務理事及び常務理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「業務執行理事の業務分担に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「役員報酬に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

オ 「顧問の委嘱に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「定時評議員会の審議内容について」報告がありました。

(3) 平成29年度第3回(平成30年3月12日開催)

ア 「平成30年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

2 評議員会

(1) 平成29年度定時評議員会(平成29年6月22日開催)

ア 「平成28年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「評議員の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「理事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「理事会の審議内容について」報告がありました。

3 官庁事項

内閣府への届出等事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成29年6月29日 ・平成28年度事業報告等提出
- (2) 平成29年7月 4日 ・評議員及び理事変更届出
- (3) 平成30年3月22日 ・平成30年度事業計画書等提出

4 登 記

今期における登記事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成29年6月23日
 - ア 重任登記
篠原新治理事
 - イ 就任登記
村松與章理事、萩原博美理事、小坂彰洋評議員
 - ウ 退任登記
梁川卓理事、竹内良治理事、川田博之評議員

5 役 員

- (1) 平成29年6月22日

梁川卓理事退任、竹内良治理事退任、村松與章理事就任、萩原博美理事就任
今期末における役員は、次のとおりであります。

会 長 (代表理事)	梅 崎 壽
理 事 長	村 松 與 章
専務理事	萩 原 博 美
常務理事	篠 原 新 治
常務理事	賀 山 弘 之
理 事	内 田 喜 恵
理 事	白 石 公 子
理 事	鈴 木 嵯 峨 子
理 事	竹 内 誠
理 事	中 谷 吉 隆

理事 平松英子
監事 吉田茂
監事 鈴木信行
(理事 11人、監事 2人)

6 評議員

(1) 平成29年6月22日

川田博之評議員退任、小坂彰洋評議員就任

今期末における評議員は、次のとおりであります。

小坂彰洋、實方 健、鈴木章生、高橋宏之、辻 恵子、堂免敬一、花上嘉成、
平野直樹、山田 徹、若林 功

(10人)

7 従業員

今期末における従業員数は、29人であります。

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。

平成30年6月

公益財団法人 メトロ文化財団